よくある質問 Q&A

・当尾で食事や喫茶できるところはありますか?

あ志び乃店 (あしびのみせ)





地元のお米、国産大豆を使った減塩味噌、昔ながらのお醤油など、安全でおいしい、 地産・手作りにこだわっています。広い庭の四季折々の花も堪能してください! **☎0774-76-2791** 木津川市加茂町西小札場 56 団体 OK

【営業時間】10:00~16:30【定休日】不定休【駐車場】浄瑠璃寺前駐車場(有料)



自家生産のお米と野菜を使った一品や麺類などがあり、山菜たっぷりのうどんも 人気です! 浄瑠璃寺を拝観したら一休みしてください。

☎0774-76-3530 木津川市加茂町西小札場 72 団体 OK

営業時間】10:00~16:00【定休日】不定休【駐車場】浄瑠璃寺前駐車場 (有料)

「石仏の道」を案内してもらえるガイドさんはいますか?

「NPO 法人ふるさと案内・かも」に

歴史・石仏・自然の魅力あふれる加茂をご案内します

【運営協力金】5 名まで 1,000 円、6 名以上 1 名につき 200 円。 土・日は、JR 加茂駅改札前で観光案内、コミュニティバス 1日フリー乗車券や地場野菜などの販売をしています。

◇ NPO法人ふるさと案内・かも事務局

★木津川市加茂町里中森101番地 加茂青少年センター内(9:30~17:00 /月・祝祭日定休) TEL/FAX:0774-76-3989 http://furusato-kamo.sakura.ne.jp

JR 加茂駅 観光案内所(9:00~16:00 /土·日曜日のみ営業)

※**まちかど観光案内所** 加盟店では市内の観光パンフレット

当尾に駐車場はありますか?

阪神高速・第二阪系

岩船寺前」と「浄瑠璃寺前」に

1,500 円 普通·軽自働車 300円

約60分

約75分





/スタルジックな空間でホッこりとコーヒータイムを楽しめます。 自家焙煎珈琲と 手作りピザのお店です。不定期ですが小規模コンサートを開催中です! ☎0774-66-6568 木津川市加茂町東小上谷ノ下 10-2

k.com/Cafe- 瑠璃 -1509183512629011/

営業時間】9:00~日没まで 【定休日】月・火曜日 【駐車場】有り

買える店はありますか?













吊り店 当尾の里を歩くと時折出会う、横に渡した木に吊り下げられた地場 野菜や漬け物などを選んで、料金箱に100円を入れる無人販売の露店。 この吊り店を覗くのも、散策の楽しみの一つです。全国にある吊り店の元祖は、

当尾へのアクセス



森小路



2018.07

克都府木津川市加茂町 らい仏/木津川市フォトコンテスト:京都府知事賞「山吹の頃」中谷 トシ

> 木津川市加茂町東南部の当尾(とうの)地区は古来より、南都仏教の影響を色濃く受け、南都の僧侶が修行にうち こむため、都から少し離れたこの地で暮らしたと伝えられています。やがて僧侶の過ごした庵が寺院へと姿を 変え、塔頭(たっちゅう)が並び「塔の尾根」ができ、いつしか「当尾」になったといわれています。浄瑠璃寺や岩船 寺周辺には寺院や修行場が点在し、多くの磨崖仏(まがいぶつ)が建立されました。これらは道を行き交う人々 を優しく見つめてくれる道しるべとしての石仏達です。石仏は当尾の里」 一帯にわたっており、散策コース の道中では旬の野菜が並ぶ吊り店など、四季折々の美しい 山村の風景が楽しめます。







--般社団法人 **木津川市観光協会**

〒619-0216 木津川市州見台 1 丁目 1 番地 1 ガーデンモール木津川 2F TEL: 0774-73-8191 / FAX: 0774-73-8136 (10:00~17:00 水曜定休) e-mail:kanko@0774.or.ip

URL:http://www.0774.or.jp

木津川市の観光情報を是非御覧下さい!



浄土の池「宝池」を中心にして、東に薬 師仏、西に阿弥陀仏を配した庭園は極 楽世界をこの世に表わしたものです。 本堂には平安期の九体阿弥陀如来坐像 を横一列に安置しており、当時のまま 現存するのはここ浄瑠璃寺だけです。 【国宝】本堂、三重塔、九体阿弥陀如 来坐像、四天王像 【重要文化財】

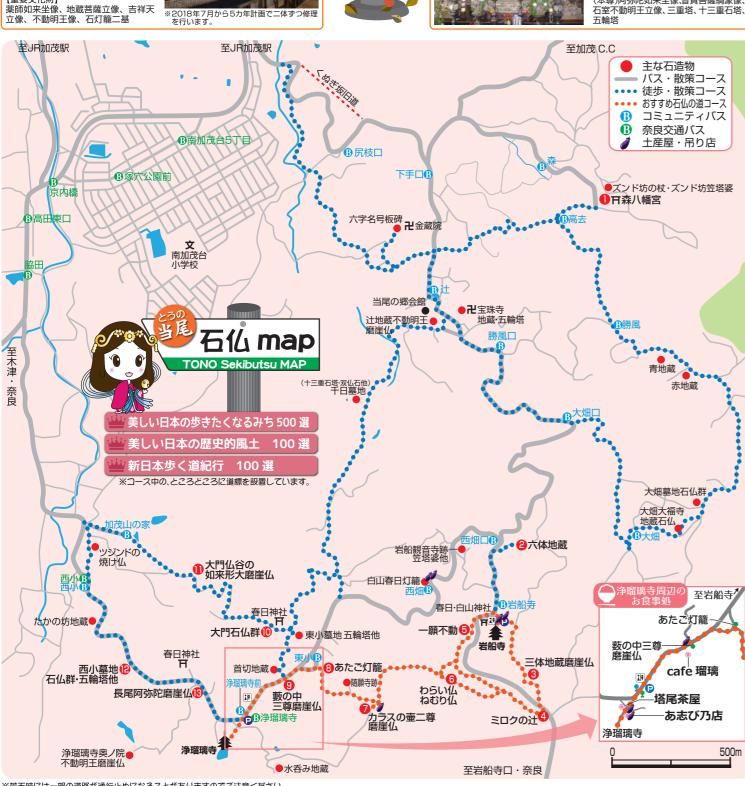


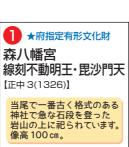




729年、聖武天皇が行基に命じて阿弥陀 堂を建立したと伝えられ、本尊阿弥陀 加来坐像をはじめそれぞれの時代に造 られた優れた重要文化財があります。初 夏の新緑、秋の紅葉に三重塔がなじみ、 境内一帯に植えられたあじさいも美し く「あじさい寺」として知られています。 【重要文化財】

(本尊)阿弥陀如来坐像、普賢菩薩騎象像、





六体地蔵

高さ 112 cm、像高44 cm。

三体地蔵磨崖仏

ミロクの辻から岩船寺への

旧道の途中、見上げる様な所にかわいい三体のお地蔵

さんが彫られています。

(弥勒仏線彫磨崖仏)

昔から大道が交わる道の辻

で、旅人が健脚を祈ったとこ ろといわれています。

【南北朝】

【鎌倉末期】

像高 90 cm。

ミロクの辻

【文永 11(1274)】

像高 170 cm。

-願不動

像高121cm。

わらい仏

【永仁7(1299)】

★府指定有形文化財

わらい仏の傍らにある、

カラスの壷二尊

【康永 2(1343)】

(阿弥陀地蔵磨崖仏)

道が交差する分岐点で「からす

のつぼ」と呼ばれている場所。角石のコーナーに彫られたお

土の中に半分埋もれている

「ねむり仏」もお見逃しなく

(不動明王立像)

【弘安 10(1287)】

★府指定有形文化財

岩船寺奥の院の修行場の

大岩に彫られた童顔ギョロ目の愛嬌があるお不動さん。

(岩船阿弥陀三尊磨崖仏)

★府指定有形文化財

4



















大門仏谷 (如来形磨崖仏) 掌する勢至菩薩を従えた阿弥陀仏です。永仁 7 年 (1299) 当尾の石仏群中、最大の磨 の銘文があり、上部の屋根石が廂となっているので、風蝕の 崖仏です。 影響も少なく保存状況は良好です。特に夕陽の中にたたず

8

【江戸】

あたご灯籠

高さ170 cm。

細長い自然石を使用した灯

籠です。バス停の側にひょろ

東小集落中程の藪中にあり

ます。随願寺の塔頭があった

場所といわれています。

111cm, 153cm, 91cm,

像高、右から

っ建立されています。

幅約6mの花崗岩に2.8 m の如来坐像が高肉彫りされ ています。

竹藪の中や細い山 道にあった石仏、石

藪の中の岩に舟形の光背を彫りくぼめ、正面に地蔵と十一面 観音、向かって左に阿弥陀を配する非常に珍しい配置の石 仏です。作者は橘派の橘安縄、当尾の石仏中最古の1262

塔などを集めて安 置しなおしたもの で、双体仏や石龕仏、 六字名号板碑や五 輪板碑などがあり 変化に富んでいま

三叉路に建つ形式

にとらわれない変

わり燈籠で、愛宕

神は火の神様(火

伏せ)を司ってい

ます。当尾ではお

正月にここからお

けら火を採り雑煮

を炊く風習があっ

たそうです。同型

の燈籠が、穴薬師 の前と岩船の集落

にもあります。

年彫刻とあります

像名に関して、阿弥 陀如来、弥勒如来、 釈迦如来などの諸 説があり、まだ確定 しきれていません。 製作時期に関して は不明です。かつて は真下まで行ける道 がありましたが、現 在は草に埋もれて しまい、谷を隔てた 道が拝所となりま



埋没や盗難などを防ぐため、かつては周辺に散 在していた無縁墓や石仏が集められています。 西小墓地入口の一基で、当初はこの墓地の

総供養塔として造立されました。向かって 左側の反花座は、側面を三区に分けた格 狭間(こうざま)と呼ばれる装飾が入り、右 側は反花座のみとなっています。宇宙根本 の思想、この世を構成している地・水・火・ 風・空を表したものといわれています。 仏教のいう五大要素でもあります。

美しい連弁の台座 こ座り、両手を腹部 の前で上品上生の 定印を結んだ阿弥 陀坐像です。 1307年(徳治2年) からここで人々の 往来を見守ってきま

した。



風

火

※荒天時には一部の道路が通行止めになることがありますのでご注意ください。 ※季節によっては道中の雑草が伸び、足元が悪くなることがありますのでご注意ください。

西小墓地石仏群

西小五輪塔 (鎌倉) ★重要文化財

東塔 243 cm、西塔 225 cm。

長尾阿弥陀磨崖仏 【徳治 2(1307)】

像高 76 cm